

毘沙門台学区小学校向けに防災講座を開催しました

令和2年1月9日と10日の両日に小学校で防災講座と授業を支援しました。

9日の講座は教職員向けに、10日は3年生の授業として80名と担任教師3名が参加され、防災授業に協力しました。

講師として、毘沙門台学区自主防災会連合会事務局長の林 春樹(防災士)氏が担当し大好評でした。教職員向け講座は、ほとんどの教師は毘沙門台の災害を初めて認識され驚かれていた。

教師向け講義内容は、パワーポイントと映像を交え解説を交えて行った。

- ① 土砂災害から命を守るために、毘沙門台の地形を空から眺めてみよう、
- ② H21.08.20 広島豪雨災害ダイジェスト版の紹介。
その時、毘沙門台に何がおきたのか被害状況の映像紹介

1/10日、3年生向け防災授業の概要 「受講児童数 80名、教師3名 計83名」

授業内容：配布資料をパワーポイントと映像により解説を交えて行った。

- ①防災について学ぼう 自然災害から自分の命を守るために
 - ・空から眺めてみよう毘沙門台(土砂災害危険地域の場所(配布ハザードマップ配布)
 - ・そのとき毘沙門台に何が起きたのか? H21.08.20映像による紹介
- ②アニメ映画 水防団の神様 鑑賞
みんなで仲良く防災
- ③こんな人たちに守られている(配布資料)
- ④そうだったのか?…防災クイズによる理解度の確認

毘沙門台学区小学校3年の防災意識が高く、学校の防災についての日頃の取組み成果を知ることが出来てとてもよかった。

